Malignant melanoma *in situ*

Malignant melanoma *in situ* の 3 例

川端 康浩* 出月 健夫* 玉置 邦彦*

Summary

We reported three cases of malignant melanoma *in situ*. Case 1: A 36 years old, female. Superficial spreading melanoma *in situ* on the upper back. Case 2: A 56 years old, male. Acral lentiginous melanoma *in situ* on the left sole. Case 3: A 59 years old, male. Ungual melanoma *in situ* on the right thumb. Histopathologically atypical melanocytes are within the epidermis in all cases. We treated them by local resection and skin graft.

We observed them with dermatoscope. The features of the lesions of superficial spreading melanoma *in situ* with dermatoscope were characterized by irregular pigment network, radial streaming and pseudopods in the periphery. And those of acral lentiginous melanoma *in situ* were characterized by diffuse pigmentation unconcerned with sulcus cutis and crista cutis and hyperpigmentation on the crista cutis rather than sulcus cutis. Dermatoscope proved to be useful for the correct diagnosis of early malignant melanoma.

結 言

近年、我国の Malignant melanoma (以下 MM) の発症頻度は年々増加傾向にあるが、予後はむしろ改善してきている。その理由として、治療法の進歩のみならず早期症例の増加も貢献していると考えられる¹⁾²⁾。当科でも1995年1月から6月までの比較的短期間に3例の MM *in situ* を経験した。今回、これらを供覧し、その診断の一助になると思われる dermatoscope 所見

の特徴について述べる。

症 例

症例 1: 36歳, 女性

現病歴: 約4年前に左上背部の粟粒大の褐色斑を家人に指摘された。徐々に拡大し、色調も濃くなってきた。

家族歴・既往歴: 特記事項なし。

現 症: 左上背部に径14×15mmの色調の不均一な濃褐色斑を認める(図1)。色調の最も濃い部分ではやや扁平に隆起していた。

dermatoscope 所見: pigment network は途切れ途切れで、幅も広く非常に不規則である。辺縁部では radial streaming や pseudopods が

* Yasuhiro KAWABATA, Takeo IDEZUKI, Kuni-hiko TAMAKI: 東京大学医学部皮膚科学教室(主任: 玉置邦彦教授)

図 1. 症例 1 の肉眼所見.

図 3. 症例 1 の病理組織所見

みられ、中心部には Gray-Blue-Veil がみられる (図 2)。

病理組織所見：大型で淡明な腫瘍細胞が表皮内で大小様々な大きさの胞巣を作って増殖している (図 3)。真皮に炎症細胞の浸潤はみられるが、基底膜は保たれている。Superficial spreading melanoma (以下 SSM) *in situ* と診断した。

治 療：辺縁より 1 cm 離して表在筋膜のレベルで切除し、全層植皮にて被覆した。

症例 2：56歳，男性

現病歴：約 5 年前に左足底の径 1 cm ほどの黒色斑に気付いた。徐々に拡大してきたが放置していた。

家族歴・既往歴：特記事項なし。

現 症：左母趾球部に径 1 × 2 cm でほぼ中央に黒褐色斑を有する不整形淡褐色斑を認める (図 4)。

dermoscope 所見：濃淡不整なびまん性褐

図 2. 症例 1 の dermoscope 所見
幅の広い不規則な pigment network を構成し、その辺縁部では radial streaming や pseudopods がみられる

図 4. 症例 2 の肉眼所見

色色素斑として観察され、色調のやや濃い部分では色素沈着は皮溝、皮丘に無関係で、淡い部分では、皮溝よりもむしろ皮丘に強くみられる。また、不規則な色素脱失が散在している (図 5)。

病理組織所見：大型の異型メラノサイトが表皮基底層を中心に孤立性に増殖しており (図 6)，acral lentiginous melanoma (以下 ALM) *in situ* の典型像と考えた。

治 療：辺縁より 1 cm 離して脂肪層のレベルで切除し、同側の土踏まずから採皮して全層植皮にて被覆し、土踏まずには大腿より分層植皮を行った。

図 5. 症例 2 の dermatoscope 所見.
色調の濃い部分では色素沈着は皮溝、皮丘に
無関係にみられるが、淡い部分では皮溝より
むしろ皮丘に強くみられる

図 7. 症例 3 の肉眼所見

症例 3 : 59 歳, 男性

現病歴 : 約 3 年前より右拇指爪の黒色色素線
条に気付いていた。1 年前より爪甲全体に拡大
し、指尖部にまで広がってきた。

家族歴・既往歴 : 特記事項なし。

現 症 : 爪甲全体にびまん性に色素沈着がみ
られ、その中に色調の濃い縦縞が不規則に数条
みられる。指尖部にもしみだし様の色素沈着が
あり、いわゆる Hutchinson 徴候を呈している。
また、後爪郭には色調の濃い半米粒大の黒色点
がみられる (図 7)。

dermatoscope 所見 : 爪甲の色素線条は後爪

図 6. 症例 2 の病理組織所見

図 8. 症例 3 の病理組織所見

郭から爪甲先端へ向かう濃淡差のある直線の集
合体よりなり、Hutchinson 徴候の部分は皮溝、
皮丘に無関係なびまん性の色素沈着だった。

病理組織所見 : 爪母、指尖部では表皮基底層
に大型で胞体の明るい異型細胞が孤立性に増殖
していた。後爪郭の黒色点の部分では腫瘍細胞
は楕円形の胞巣を形成していた (図 8)。Ungual
melanoma *in situ* と診断した。

治 療 : 色素斑の辺縁より 5 mm 離して爪
床、爪母を含めて骨上で切除し、右前腕より薄
めの分層植皮で再建した。

考 察

我国でも MM の発症頻度は年々増加傾向に
あり、それに伴う手術法、化学療法、免疫療法
などの進歩には目を見張るものがある。しかし、
進行例の治療ではどんなに手を尽くしても自ず

から限界があり、やはり早期発見、早期治療に如かずといわざるを得ない。早期発見のためには社会的啓蒙のほか、皮膚科以外の医師も含めて臨床医の診断能力の向上も重要である。Dermatoscope による色素斑の観察は MM の診断精度を向上させるばかりでなく、我々の臨床能力の向上の一助にもなると思う。

SSM の dermatoscope 所見の特徴については 1993 年 Hubert らが詳細にまとめている³⁾。それによれば、その最も大きな特徴として幅が広くて不規則な pigment network がみられること、辺縁部に radial streaming や pseudopods がみられること、Gray-Blue-Veil の存在をあげている。そして、それらはそれぞれ病理組織学的には、表皮内の腫瘍細胞の増殖、辺縁部における腫瘍細胞の放射状の拡がり、spontaneous regression をあらわしているという。症例 1 の dermatoscope 所見はこれに合致し、SSM *in situ* の典型例と思われる。

一方、日本人に多い ALM の dermatoscope 所見は SSM のパターンとは異なっている。ALM との鑑別を要する足底の色素性母斑の場合は Akasu ら⁴⁾、Saida ら⁵⁾がそれぞれ 5 型、3 型に分類しているが、その大きな特徴は皮溝、皮丘および汗腺開口部と密接に関わり、主に線

状のパターンを呈することである。これに対し ALM では症例 2 に顕著にみられたようなこれらに無関係なびまん性の色素沈着が一つの特徴と考えられる。今後もこうした早期症例を積み重ねて、MM *in situ* の臨床所見および dermatoscope 所見についてさらに検討を加えていきたいと思う。

文 献

- 1) 石原和之：悪性黒色腫全国アンケートの集計と説明. Skin Cancer, 9 : 52-68, 1994.
- 2) 熊坂中, 末武茂樹, 田畑伸子, 他 : Melanoma *in situ* の 40 例の統計的観察. Skin Cancer, 10 : 361-365, 1995.
- 3) Hubert, P., Michael, B., Andreas, S., et al. : *In vivo* epiluminescence microscopy : Improvement of early diagnosis of melanoma. J. Invest. Dermatol., 100 : 356s-362s, 1993.
- 4) Akasu, R., Sugiyama, H., Araki, M., et al. : Dermatoscopic and Videomicroscopic features of melanocytic plantar nevi. Am. J. Dermatopathol., 18 : 10-18, 1996.
- 5) Saida, T., Oguchi, S., Ishihara, Y. : *In vivo* observation of magnified features of pigmented lesions on volar skin using video microscope. Arch. Dermatol., 131 : 298-304, 1995.